

式 辞

校庭の桜が咲きそろい、今まさに春爛漫を迎えようとしています。

この春の良き日に、多くの保護者の皆さまの御臨席を賜り、新入生を迎えることができましたことに、厚くお礼申し上げます。

ありがとうございました。

さて、七十名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症の拡大予防ということから、皆さんの先輩たちや来賓の皆様のいない中で、縮小した形で式を行わざる得なくなりました。このことを、大変申し訳なく、残念に思っています。

しかし、このような中ですが、校長先生をはじめ、先生方、在校生一同は、皆さんの入学を、心待ちにしていました。皆さんの今の立派な姿から、きっと素晴らしい中学生になってくれると、大変期待しています。

皆さんは、今日から城西中学校の一員となります。その皆さんに、いつも心に刻んでおいてほしいことを、二つお話します。

一つ目は、「自分自身を理解し、お互いを認め合い、高めあう」ことができるようになってほしいということです。

これから皆さんが生きていく時代は、変化が激しく、不透明・不確実な時代になると言われています。こうした変化の激しい社会をたくましく生き抜いていくために、まず、自分の長所や短所、好きなもの、得意なものなど、自分自身を理解し、その上で、自分の未来・将来について考え、切り拓いていくください。

また、グローバル化が進み、多様な人々が共に生活する社会においては、一人一人の個性を受け入れ、尊重し、認め合うことが大切です。その意味で、新入生の皆さんには、お互いを認め合い、高めあうことができるようになって欲しいと思います。

二つ目は、自分で「考える」ということです。

学習や活動、生活において、積極的に疑問や課題を見つけ、その解決に向けて、意欲的に自分で、そして仲間とともに考え、粘り強く取り組んでいってもらいたいと思います。この自分で考え、判断し、行動していくところが「主体的な学び」であり、学校生活全体を通じて、学ぶ楽しさ、学ぶ喜びを実感してほしいと思います。

学校の主役は、皆さん一人一人です。これから始まる授業や部活動など様々な活動の中で、しっかり考え、「やる気」を出して、充実した中学校生活を送ってください。

さて、保護者の皆さまにご挨拶申し上げます。お子様のご入学、誠に改めてどうぞございます。

職員一同、心からお祝い申し上げます。

かけがえのないお子様を、本日、確かにお預かりいたしました。

本校の全教職員は、保護者の皆様と協力しながら、「誠実」に粘り強く、生徒の成長を支援してまいります。

保護者の皆様のご期待に添えるよう努力してまいりますので、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、新入生の皆さん、新型コロナウイルス感染症が依然として猛威を振るっています。健康・安全を第一に、今日から一緒に頑張っていきましょう。

二〇二〇年(令和二年)四月七日

福山市立城西中学校長 関藤 一智